

# 茅ヶ岳

毎日新聞旅行 1日

茅ヶ岳へ登るのは、記録上では1970・71年に続いて3回目のはずであるが、木でできた深田久弥の慰霊碑を見たような記憶があるので、もう1回登ったことがあるのかも知れない。この日は初冬の快晴に恵まれて実に快適な1日であった。だが富士山の近くにはくっきりした3重のレンズ雲が浮かんでいて近じか気が崩れることをにおわせていた。翌日の東京は朝から雨であったので、この観天望気の正しさを教えてくれた。

この日の参加者は男4名の女6名。Kザマのバーサマがいた。相変わらず孫の送り迎えがあるので土日しか参加できないとのこと、もう数年前からそんなこと言っているのだから、いったい何人孫がいるのだろう。余計なおせっかいか。日曜日であったのでバーサマばかりではなく労働者風情も何人かいたが、俺の前を歩いていたジーサマはブーブーをこいても知らんぷりしているのでジジイは嫌いだ。

リーダーはオッカナイ顔をしているが心は優しい桜井さん。もう年取ったから山の添乗は少なくしていると聞いてみると俺より3つ4つ若い。ナマゆうんじゃないよ。サブは前回の檜寄山に続いてミズまいたびの朝妻さん。ジジババ軍団にも花が咲いたようだ。





この写真ではよくわからないが、鳳凰の地蔵にあるオベリスクまで識別できた。もっとズームにして写せばよかった。